事業計画書要旨

(施設名：群馬県立日本絹の里)

1 申請者名	公益財団法人群馬県蚕糸振興協会
2 管理運営方針	<p>① 多くの方々に親しまれる日本絹の里を目指します。</p> <p>② 蚕糸絹業の振興及び活性化に寄与する企画展示等を開催します。</p> <p>③ シルクショップにおける販売を通じて県産シルクの需要促進に努めます。</p> <p>④ 世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の解説を通じて群馬の蚕糸業の理解醸成に努めます。</p> <p>⑤ 蚕糸絹業関係者の交流の拠点として活動します。</p> <p>⑥ 絹文化を通じて国際交流を進めます。</p> <p>⑦ 専門性を活かした最新の技術展示を行います。</p> <p>⑧ 伝統技術の伝承を進めます。</p> <p>⑨ 体験学習を通じてものづくりの心を育みます。</p> <p>⑩ 効率的かつ効果的な管理運営に努め経費削減を図ります。</p>
<p>3 管理業務に関する事項</p> <p>(1) 蚕糸絹業に関する企画展示及び体験室の運営に関する業務</p>	<p>常設展示は、蚕糸業の歴史、技術、絹製品、蚕の生態、世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」の紹介など蚕糸絹業についての幅広い内容の展示を行います。</p> <p>企画展示は、常設展示と併せて日本絹の里を魅力ある施設と位置づける重要な方策であり、蚕糸絹業関係者の交流の拠点、情報の発信、養蚕・絹文化の継承という設置目的達成のため次のような観点からの展示を中心に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蚕糸絹業の歴史や技術を紹介するような展示 ・ 新たな客層の集客に結びつくような展示 ・ 多くの集客が見込まれるような展示 ・ 県内染織作家等の作品発表の場となるような展示 ・ 毎年開催して好評を博している展示（蚕の生態を紹介する夏休み展や、友の会と共催し、会員や県内外作家の作品、まゆクラフトの公募作品の展示など） ・ 世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめ「ぐんま絹遺産」に関する展示 ・ その他、群馬の蚕糸絹業や伝統芸能に関する展示、県外提携博物館と連携した展示など <p>各種体験学習は絹を素材にし、絹の素晴らしさを知ること、ものづくりの心を育むことを目指しております。指導は、専門の非常勤講師等とボランティアにより行い、初心者でも解りやすく絹に興味を持っていただき、ものづくりの楽しさを体験できる内容とします。</p>

<p>(2) 施設・設備の維持管理</p> <p>(3) その他</p>	<p>次の各業務について、法令を遵守し、的確に実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設及び附属設備の利用の承認に関する業務 ② 有料施設等の利用の承認取り消し等に関する業務 ③ 日本絹の里への入館の拒否に関する業務 ④ 日本絹の里休館日の変更等に関する業務 ⑤ 日本絹の里の開館時間の変更に関する業務 ⑥ 日本絹の里の観覧料、有料施設等の利用料金の徴収等に関する業務 ⑦ 日本絹の里の施設及び附属施設の維持管理に関する業務 <p>関係法令や条例及び規則等はもちろん、独自に定めた諸規程等を遵守し、適切な管理に努めます。</p>
<p>4 サービス等を向上させるための取組</p>	<p>日本絹の里は、多数の利用者を対象とするサービス業です。職員一人ひとりが日本絹の里の「顔」であり、その接客態度の善し悪しが日本絹の里全体の評価につながるということを認識させ、責任ある姿勢で業務を行うことを徹底させます。</p> <p>そのため、接遇の基本である1)挨拶、2)表情、3)態度、4)言葉遣いについて、OJT、Off JTを適切に実施します。</p>
<p>5 利用者を増加させるための取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 新規来館者を確保するため、地元の新聞、テレビ、ラジオ等のPR活動等を積極的に行います。 ② パソコン用ホームページを中心にスマートフォン等の端末への対応を充実させるとともに、SNSを活用した情報提供を行い、来館を促します。 ③ 企画展等のポスター、チラシの発送や近隣の市町村へ回覧を依頼します。 ④ 旅行業者や宿泊施設等へのアプローチにより県内外観光客の集客増を図ります。 ⑤ 東京で行われる定例記者会等へ企画展示の情報を提供し、首都圏からの来館者の掘り起こしに努めます。 ⑥ 「10月28日県民の日」には、観覧料を無料にします。 ⑦ 毎年1月3日は県の承認のもと臨時開館し、イベントを開催します。 ⑧ リピーターを確保するために、引き続きポイントカード制度を実施します。
<p>6 自主事業</p>	<p>該当なし</p>

7	年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	合計	
収 支 計 画 書	総収入	118,628	118,828	119,228	120,028	120,328	597,040	
	内 訳	指定管理料	109,400	109,600	110,000	110,800	111,100	550,900
		給付費						
		利用料金	4,003	4,003	4,003	4,003	4,003	20,015
	その他	5,225	5,225	5,225	5,225	5,225	26,125	
	総支出	118,628	118,828	119,228	120,028	120,328	597,040	
8	管理運営体制 (組織及び人員の 状況、障害者雇 用の状況)	<p>① 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長（館長兼務）の下に、常務理事（事務局長兼務）及び総括を配置します。 ・ 企画部門は、主に企画展示、体験学習、情報提供相談、資料の収集などを担当します。 ・ 管理部門は、主に施設の維持管理、組織の運営、シルクショップに関することなどを担当します。 <p>② 人員の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長（館長兼務）、常務理事（事務局長兼務）…………… 2名 ・ 総括…………… 1名 ・ 企画部門…主任ディレクター、ディレクター、嘱託職員…………… 4名 ・ 管理部門…主幹、嘱託職員、臨時職員……………11名 <p style="text-align: right;">計 18名</p> <p style="text-align: right;">※ 専任講師（委嘱）2名を除く</p> <p>③ 障害者雇用の状況</p> <p>以前は、1名の障害者雇用を行っていましたが、勤務が出来ない状況が長期間にわたり、本人から退職の意向が再三表明されたことから、退職となり、現在は、適任者がいないため、障害者雇用は行っておりません。</p> <p>なお、今後、適任者があった場合には、雇用をしていきたいと考えております。</p>						
9	その他 地域団体（住民）との 連携や地域貢献への取 組 環境保全に対する 取組などその他特記す る事項	<p>① 近隣の中学校や高校から、職場体験の生徒受け入れを積極的に実施します。</p> <p>② 県内の全小学校を対象に、カイコの飼育セットの無料頒布を実施します。</p> <p>③ 大学生の博物館実習を受け入れます。</p> <p>④ 教職員の体験研修を受け入れます。</p> <p>⑤ 群馬県作家協会などと連携し、講演や体験教室などのイベントを共催して実施します。</p>						